

日本語教室

基金で助成している日本語教室には、小学生に日々の宿題を手伝いながら日本語指導する教室や、中学生の高校進学に向けた教科学習を中心に支援している教室、学習支援と言うよりは外国人の子どもたちの居場所づくりに重点を置いた教室など、様々な日本語教室があります。

ここでは、平成29年度に新たに助成対象となった教室のうち、二つの教室をご紹介します。

城北日本語教室

はじめは日本語に対して不安感が強く、うなずく程度のコミュニケーションしかとれない生徒もいましたが、徐々に日本語が話せるようになり、笑顔を交えたコミュニケーションを取れるようになりました。

教室に通う生徒のうち、1人がN2、2人がN3の日本語能力試験に合格しました。他の生徒が次回の試験に向けて強い意欲を示すようになりました。



スリーエス 東刈谷市民館

子どもたちはいつも元気に教室にきています。教室の認知度も上がり、少しずつ参加者が増えています。学校の授業についていけない子どももいる反面、まだまだの子どももいるので、サポート体制をどのようにしたらいいのか、ボランティア同士で相談しながら進めています。



外国人学校

6校の外国人学校に対し、日本語の授業を行うための指導者雇用に必要な経費の一部を助成しています。また、基金再造成の28年度より、外国人学校で学ぶ子どもたちも日本語能力試験受験料助成事業の助成対象となり、29年度は1校に対して助成しました。ここでは、1校についてご紹介します。

エスコーラ パウロフレイレ 瀬戸



高校受験を控えた生徒の受験指導に対し、保護者からの具体的な要望に対応することができました。国語教科書を利用した紙芝居や漢字かるた、数字板利用による九九指導など、体を使った学習方法を提案することで生徒の学習意欲が向上しました。

近くの高校の学生ボランティアが学習の一環で参加してくれるので、生徒たちも刺激を受けて積極的に学習しています。また高校にとっても地域社会の外国につながる子どもたちに接する機会となり、楽しく活動に参加してもらっています。

【日本語学習支援基金事務局】公益財団法人愛知県国際交流協会 交流共生課 共生相談担当
〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎内
TEL:052-961-1409/FAX:052-961-8045/E-mail:kikin@aia.pref.aichi.jp
(平成30年10月1日発行)

～ 日本語学習支援基金への御協力をありがとうございました ～

平成29年度の事業実績

愛知県内の公立小・中・高校には、日本語指導が必要な外国人児童生徒が7,277人(平成28年5月1日現在)在籍しています。これは、2位の神奈川県3,947人を大きく引き離し、全国一位の数字です。

皆様のご協力により造成いたしました日本語学習支援基金では、それらの児童生徒の日本語学習を支援するための事業を実施しています。

平成29年度の事業の実績をご報告します。

日本語教室への支援



◆ 日本語教室学習支援事業

29市町 53団体 85教室 延べ10,484人

外国人児童生徒に日本語指導を行うための日本語教室を運営する団体に対して、教室運営に必要な経費の一部を助成しました。

◆ 日本語能力試験受験料助成事業

14団体 61人

日本語教室で学ぶ外国人児童生徒が、(公財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し合格した際に、その受験料に相当する図書カードを贈呈しました。

外国人学校への支援



◆ 日本語指導者雇用助成事業

5市 6校

外国人児童生徒に母国の教育を行う外国人学校に対し、日本語指導者の雇用に必要な経費の一部を助成しました。

◆ 日本語学習教材給付事業

6校 766冊

外国人学校に対し、日本語の授業に必要な教材を給付しました。

◆ 日本語能力試験受験料助成事業

1校 3人

外国人学校で学ぶ外国人児童生徒が、(公財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し合格した際に、その受験料に相当する図書カードを贈呈しました。



その他

◆ 広報活動 ほか

基金事業や外国人児童生徒の状況などについて、寄付者や一般市民、関係機関の皆さまに、機関誌やホームページ、展示などで紹介しました。



▲ あいち国際プラザの展示スペースで基金事業について紹介しました

